

演題：効率化とクオリティーの両立を目指して

～デジタルを活用して効率化を実現させる考え方と取り組み～

枝川 智之

抄録

現在の歯科界はデジタル化が急速に進み、デジタルを活用したイノベーションとしてDXによる生産性の向上が求められ、手作業で時間のかかっていた時代からCAD/CAMを活用し効率化を意識した時代となっています。世界と比べて日本の生産性は低く、歯科技工士の減少や働き方改革などの時代背景を考えると、スタッフの教育と育成を効率的に行い、組織力を高める必要があります。また、デジタルを活用した効率化を進めるには、モデリングやジルコニアを適合調整の作業時間などを把握して改善点がどこにあるかを分析し改善することで、生産性を向上することが出来ます。そのためには、スタッフ一人ひとりが仕事に対しての意識を持ち時間を記録して、作業時間から問題点を自己把握した上で、ミーティングで報告してもらおう。このようにスタッフが仕事に対しての意識を高められるような取り組みと、会社のシステムの構築が大切な要素となります。

そして効率化によって生まれた時間を、専門知識や技術向上のために時間を活用することによって、効率とクオリティーの両立が可能となり、この取り組みによって、雇用条件の改善や、顧客満足度に繋がると考えています。

仕事の技術的要素が多い歯科技工士の仕事だからこそ、デジタルとアナログを使い分け的確に進めることで、確実にスキルをのばすことができると考えています。今回の講演ではデジタル・経営・教育の分野を通して、成果を変えるための「思考の習慣」を考え、将来のvisionを見据える機会になればと思っています。